

◆第4学年 57名

題材名 アンサンブルの楽しさを味わおう

曲名 『ソラシド マーチ』『夕ぐれの街』
『朝の歌』『友達がいる限り』

稲城市立長峰小学校 指導者 望月 仁美 主任教諭

1 児童の実態と題材設定の理由

3年生の学習では、「一番よい音」をキーワードにしてリコーダーの学習に取り組んできた。

まず「曲想に合った一番よい音」を出すために、自分の音、友達の音をよく聴き、課題を見付ける。次に、「自分たちが目指す一番よい音」を出すために必要な演奏の仕方を身に付け、互いに聴き合い、更に表現を高める。そして、次に学習する新しい曲との出会いの場面でも、既習事項を生かして学習に取り組んできた。

今年度は、それぞれの曲の特徴を捉え、思いや意図をもって表現することを目指している。児童が旋律の特徴に気付き、それにふさわしいタンギングの仕方を試行錯誤して身に付け、表現を工夫していく。音楽に合わせて動いたり、歌ったりすることで体得した拍感やフレーズ感を生かしながら、友達と音を合わせる喜びを味わえるようにする。

本題材では、本校のよさである豊かな自然、美しい星空、元気な子供たちの様子を表現できるよう選曲した。学校林に行き、野鳥の鳴き声をリコーダーで再現したり、校歌を参考に演奏の流れを構成したりと、身近なものから想起される音や音楽のよさに目を向けた題材を設定した。

2 大会主題に迫るための手立て

(1) 主体的な学びの視点からの学習過程の工夫

音楽との出会いをその後の学習に生かすために、常時活動として音楽に合わせて体を動かすことを取り入れている。音の高さ、速さ、リズムの変化など、感じたことを体の動きで表現することで、音楽の特徴を感覚的に捉え、児童が主体的に旋律の特徴に合った表現を工夫する学習につながった。

また、楽譜を載せたワークシートを活用し、感じたことや気付いたことを書き留め、表現の工夫を生かした。そして、楽譜に立ち返ってその根拠を確かめ、児童が見通しをもったり振り返ったりしながら学習に取り組めるようにした。

(2) 学びを広げ深める、対話を生かした学習の充実

児童が互いに音を聴き合い、気付いたことを伝え合う場面を設定した。個の思いをペア、全体へと広げていくことで学びが深まると考えた。その際、旋律線や音色を示すなど掲示物で視覚化することで、聴き取った音や音楽を比較し、言語で共有する手掛かりとした。また、児童が毎時間ワークシートに記述したものから、一人一人の思考の変容を見取り、次の時間に生かすようにした。さらに、リコーダーの専門家による生演奏を聴き、音楽のよさや美しさを味わうとともに、演奏の仕方について指導を受ける場を設定した。

(3) 学びを生かし、つなげる指導と評価の工夫

研究演奏では、旋律の特徴から演奏の仕方を工夫すること、輪奏により拍や音の重なりを感じながら表現することなどの学習を重ねてきた。4曲目『友達がいる限り』では、既習の内容を生かし、音を合わせることの喜びを感じて豊かな曲想を表現できるように、様々な楽器を使って編曲した。また、児童の学習状況に応じて、身に付けた知識・技能を想起させる働きかけを行うようにした。

本題材を通して、児童が学校や地域に、一層愛着をもつようにしたい。また、学びを次の学習や生活の中に生かし、音や音楽との関わりを自ら築き、豊かな心を育んでいくことを目指す。

助言者の言葉

3年生の時から見えてきた子供たち。4年生の後半には大きく成長した。子供たち自らの努力、望月先生の指導、稲城市の先生方の共同研究が実を結んだ。本番の研究演奏こそできなかったが、それぞれ大きな収穫があった。私は目をつぶって、空想の研究演奏にひたって、拍手を送っている。

東京女子体育短期大学非常勤講師 千田 鉄男

事前研究会より 『ソラシド マーチ』の学習過程
 「どのようなえんそうの仕方がふさわしいか見つけよう」

出会い：音楽の特徴を「見つける」




と中でなめらかなかんじに変わった！

はずむかんじがする

体を動かしたり
楽譜を見たりして気付いたこと

音が順番に上がったり下がったりしている。
なめらかなかんじ

音がとんでいる。
はずむかんじ

対話：試行錯誤して「深める」

どんな演奏の仕方がふさわしいですか？

どんな風に演奏する？

やさしい
タンギング


はっきりした
タンギング

長めの音で
tu_(t)
次の音に
つながるように

短めの音で
tu(t)
次の音と
切りはなして

児童のワークシートから
はずむ曲のときは、トゥッ
なめらかな曲のときは、
トゥー にしたい。

もっと「トゥッ」と短く切ると
はずむかんじになるよ！



予定していた演奏内容

<p>『ソラシド マーチ』 児童の明るさや元気を表現。 「なめらかな感じ」「弾む感じ」の対比を演奏する。 リコーダー(ソ〜ド), ピアノ伴奏</p>	<p>演奏しながら、両サイドから入場する。 『ソラシド マーチ』(2分) 「私たちの街、長峰は、星の見える街です」 「晴れた日には素晴らしい星空を見ることができます」 「広い空が夕焼け色に美しく染まりました」</p>
<p>『夕ぐれの街』 “星の見える街、長峰”を表現。 長い音を安定して演奏する。 リコーダー(ミ〜レ), ピアノ伴奏</p>	<p>『夕ぐれの街』(2分) 夜が明ける。(ツリーチャイム) 隊形移動…舞台上で3カ所に分かれて正面を向く。</p>
<p>『朝の歌』 長峰の朝を告げる、学校林の野鳥を表現。 拍を感じて演奏する。 リコーダー(ド〜レ), フロアタム</p>	<p>朝を告げる鳥たちが飛び回る。(バードコール, リコーダー) 『朝の歌』(3分)</p>
<p>『友達がいる限り』 長峰で出会った仲間たちと、 音楽をつくり上げる喜びを表現。 音の広がりを感じて演奏する。 リコーダー(レ〜レ), シンセサイザー, ピアノ, ドラムセット</p>	<p>① ソロ(2小節ずつ) ② 全員で輪奏 ③ 各パートの人数を半減 ④ ソロ 伴奏…フロアタム 「長峰の丘に集まって、大きな夢に向かっていこう」 『友達がいる限り』(4分) 指揮者が礼。演奏しながら、退場する。</p>
	<p>『ソラシド マーチ』(1分)</p>